

町の園芸店から住環境を提案できる提案型園芸店へ

和水町商工会 甲斐 武史

事業者名：(株)コンチネンタルフラワーズ

業 種：小売業



菊水ナーセリー本店 店内

担当者コメント

コロナ禍でも売上が伸びている。社長の中で描いていた計画を専門家と可視化した結果、第13回持続化補助金（賃上げ枠）で採択され良かったと思います。今後も発展に向け伴走型支援を行っていきます。

支援テーマ

	創業
	経営革新
	地域資源活用・新連携
	農商工連携・6次産業
●	販路拡大・販路支援
	海外展開・海外販路開拓
	事業再生・再チャレンジ
	事業承継
	ものづくり
	雇用・労務関係
	資金繰り
●	持続化補助金
	その他

支援前の課題

【企業概要】

平成5年3月創業。母より現社長へ事業承継と同時に令和3年8月法人成り。玉名郡和水町の県道沿いに約200坪の園芸店を営んでおり、現在和水町と鹿央町の計2店舗経営している。

(代表者の年齢) 41歳 (商工会青年部理事)

(現状分析)

強み <ul style="list-style-type: none"> ・和水町で30年営業しているので、農家や顧客との信頼関係が構築できており、同業他店より花苗及び観葉植物の販売品目も多い。 ・パート含む全従業員が花苗・観葉植物が好きで、知識に長けており育て方等きちんとしたアドバイスを提供できる。 	弱み <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の顧客が多く、店舗滞留時間が約10分と同業他店に比べて短い。また、主要顧客がコロナ禍以降も外出自体が少なくなっている。 ・観葉植物の売上が伸びており、若いお客様が増加しているが、古い店舗で限りがあり、観葉植物の展示スペースが満杯に近い状態である。
機会 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で花苗・野菜苗より家内で育てられインテリアとしても人気の観葉植物の売上が年々伸びてきている。 ・それと同時に30代～50代の女性や若いファミリー全員での来店も増加している。 	脅威 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣同業にはコメリ菊水店しかないが、違う大型ホームセンターが出来ればそちらへお客様が流れる可能性がある。 ・新たな感染症が再度流行りだしたら、顧客の店舗来店が減り、売上が減少してしまう。

【支援課題・支援計画】

(支援課題) SNSとメールは使えるが、その他PCスキルがなくスキルのある従業員任せの部分が多い。そのため、各種計画も手書きである。また、経理も母に任せており数値把握が不十分である。
 (短期計画) 初めて補助金を活用した店舗改装を行う事で、販路開拓・拡大と売上の基盤を作っていく。
 (中長期計画) 正社員2名、パート2名を新規採用し、安定した売上を作り年商1億を目指す。

支援内容

フェーズ1 現状分析支援

今まで手書きで短期計画を書き溜めていたので、まずそれらを取り纏めることからスタートした。その中で、まず行いたい事業の洗い出し及び順位をつけた。それと同時に売上高に占める売上・利益構成比のヒアリングを行った。それらの結果を基に現在の事業状況を可視化し、課題の抽出や今後のプラン検討を行った。

フェーズ2 持続化補助金（賃上げ枠）申請支援

現状分析の結果、花苗・野菜苗より観葉植物の売上が伸びているが、特段対策をしていなかった。また、観葉植物の販路については、県内大手住宅メーカー数社と取引があり、かつそのメーカーから顧客を自店に紹介され売上が上がっていることも分かった。5名の従業員は花苗の知識や観葉植物の知識は、十分にあるとの事。その事から、売上と客単価を上げるために花苗・野菜苗から観葉植物の割合を増やし、観葉植物のスペースを増やす店舗改装での持続化補助金申請をすることで社長と合意。また、パートの賃上げも併せて行うことでも合意した。

特任支援課主催の個別相談会で、本郷誠先生より事業計画書の内容及びSWOT分析、補助事業の有効性と将来性について等添削をしていただき、11月の第13回採択発表において賃上げ枠で採択。

（進捗・成果）

持続化補助金の申請自体を行ったことにより、売上目標設定・今後の事業計画の見直しをすることができた。また、今回採択を受けたことで、事業主も計画に沿って事業を行っていかないとならないと感じるようになった。

後は、事業主自身のPCスキルアップとSNS以外の会社としてのDX化支援を行っていきたい。

直近の予定としては、持続化補助金補助事業の進め方を指導しつつ、熊本県中小企業者生産性向上緊急支援事業補助金の申請支援を行っていく予定である。



事業者様の声

補助金事業にトライしたいと何度か考えていましたが、表やグラフを作るスキルがなかったので、青年部を担当する甲斐さんにダメ元で相談した所計画の可視化及び添削等アドバイスを頂き、結果採択となり良かったです。今回の補助事業計画は今後の当社運営に大きく影響する為、非常に大きな成果を得る事ができました。ありがとうございました。

自社PR

花苗・野菜苗、観葉植物が中心で、緑にあう雑貨も販売しています。品質と品種には特にこだわり、お客様にお伝えできるよう努力しています。今回の補助事業でより綺麗でお客様に出入りやすい店舗にいたします。たくさんの植物達と従業員一同お待ちしております！

